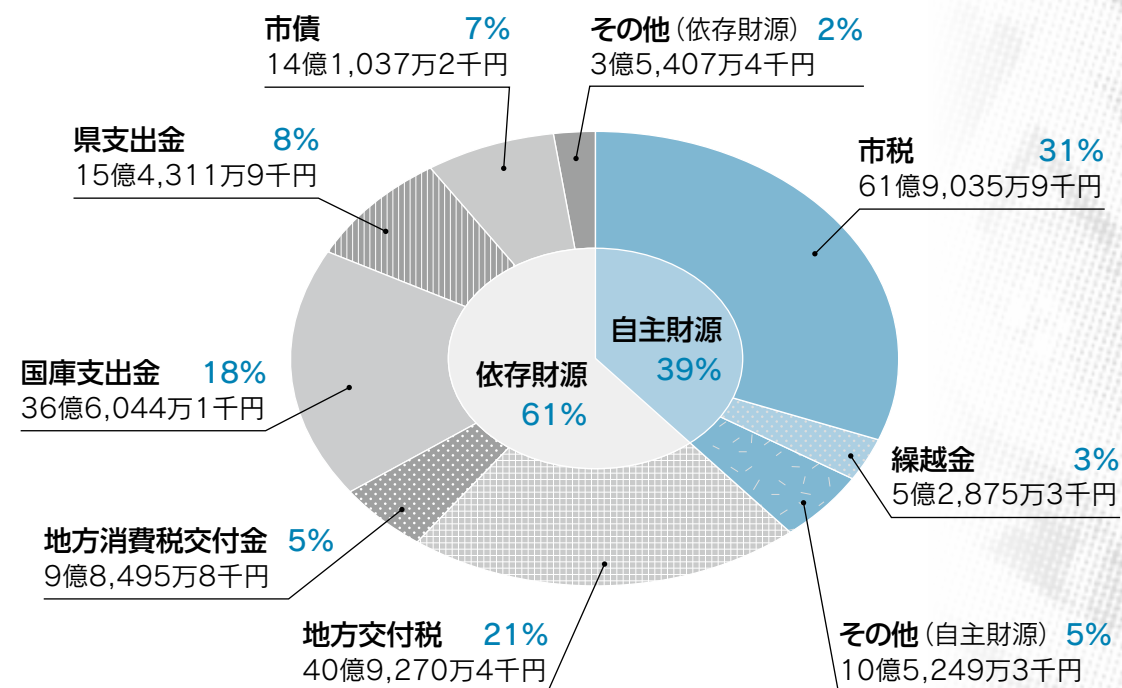


市民の皆さんが納めた税金などが、どのように使われ市の財政が運営されているのか、市の財政状況について平成27年度決算の概要を地方財政状況調査表（決算統計）に基づいてお知らせします。

決算統計は、総務省の基準により決算を分析したものです。（他団体に出向している職員の経費の一部を除く）

市では、毎年6月と12月に予算や収入・支出の状況などを公表しています。詳しくは、市役所の情報公開コーナーやホームページに掲載していますのでご覧ください。

一般会計の歳入 198億1,727万3千円



収入の状況

一般会計の歳入は198億1,727万3千円で、平成26年度に比べて6億9,550万2千円（3.4%）減っています。主な要因は、地方消費税交付金や国庫支出金が増え、市税や地方交付税、県支出金が増ったことによるものです。

市民の皆さんに収めてもらう市税（市民税や固定資産税、軽自動車税など）は、平成27年度決算で歳入の約31%を占めています。平成26年度と比較して2億2,250万9千円減りましたが、割合はほぼ横ばいとなっています。

特別会計の実質収支額

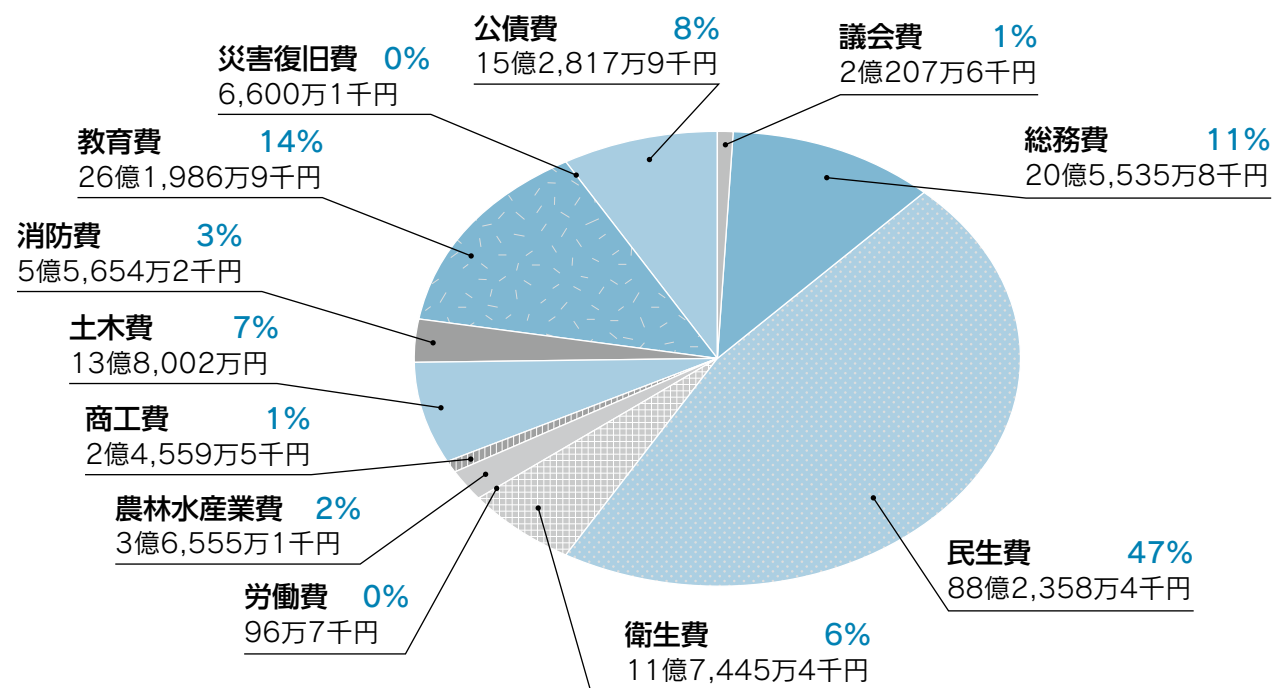
	歳入決算額	歳出決算額	実質収支額
国民健康保険特別会計	74億6,670万4千円	73億3,102万4千円	1億3,568万円
後期高齢者医療特別会計	4億9,596万6千円	4億9,432万8千円	163万8千円
介護保険特別会計	39億6,481万2千円	38億9,694万3千円	6,786万9千円

市の貯金と借金（平成27年度末）

（貯金） 財政調整基金	40億9,892万9千円
減債基金	5億3,866万4千円
特定目的基金	26億8,897万8千円
合 計	73億2,657万1千円 …市民1人当たり 122,093円
（借金） 地方債（一般会計）	164億3,169万2千円…市民1人当たり 273,825円
地方債（特別会計も含む）	276億9,307万5千円…市民1人当たり 461,490円

※人口は平成28年3月末の人口（60,008人）で算出しています。

一般会計の歳出 190億1,819万6千円



支出の状況

一般会計の歳出は190億1,819万6千円で、平成26年度に比べて5億6,582万6千円（2.9%）減っています。市民1人当たり、31万7千円が使われたこととなります。

歳出を目的別に見ると、民生費が約47%、教育費が約14%、総務費が約11%、公債費が8%となっています。性質別では、扶助費が約32%、人件費が約15%、普通建設事業費が約10%、繰出金が9%となっています。

一般会計の 決算状況・実質収支

実質収支額は7億1,111万4千円で、平成26年度に比べて5,017万円の減となりました。また、実質収支額のうち3億6,000万円は財政調整基金に積み立て、残りの3億5,111万4千円は平成28年度予算へ繰り越しました。

歳入総額
198億1,727万3千円

歳出総額
190億1,819万6千円

差引額
7億9,907万7千円

上記差引額
7億9,907万7千円

翌年度へ繰り越すべき財源※
8,796万3千円

実質収支額
7億1,111万4千円

※平成27年度に事業が完了せず、翌年度に繰り越して使える財源